



田村市立都路中学校

学校だより 第24号

令和6年10月25日(金)
発行責任者：校長 佐藤 仁
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

藍爽祭を終えて

藍爽祭が終わって、数日が過ぎ、学校にはいつもの日常が戻ってきました。改めて藍爽祭を振り返ってみると、保護者の皆様やご家族、地域の方々を前に、臆することなく堂々としたパフォーマンスを披露した生徒達の姿はとても素敵でした。

文化祭に向けた準備を通して、生徒達は何を感じたのでしょうか。「自分たちのアイデアが少しずつ形になっていくことの楽しさ」、「準備や活動を通して、学級の仲間や先輩、後輩と協力することの大切さ」、「家族や地域の方



を前に発表するプレッシャー」、「自分の役割をしっかりと果たすことができるだろうかという不安」など、様々な思いを抱えつつ、準備を進めたことと思います。

そして藍爽祭当日。プログラムにある実行委員長Y・Aさんのあいさつ「私たちにとって文化祭とは、1年間の集大成であり、青春を象徴するとても大切な行事です。私たち都中生一同、今日の藍爽祭に向けて一生懸命準備をしてきました。今日の一日を大成功で終わることができるよう一人一人楽しんでいきましょう」にあるように、全力で発表し、踊り、歌い、演じることができました。

最大の生徒会行事藍爽祭を終えて、生徒の皆さんは何を思い感じたのでしょうか。

○ 藍爽祭前とは違う自分

文化祭は、学校の教育活動の一つであり一定の制限はあるものの、自分たちの力で考え創り上げていくものです。その過程の中で、それまで全く気づかなかった自分に出会えるチャンスです。意図しないところで、仲間や先輩、後輩、先生が気づかせてくれることもあるでしょう。一生懸命取り組んだからこそ、新しい自分に出会える。それは成長の一つと言えるかもしれません。文化祭が終わった後のやりきった感と終わってしまったことへのちょっとしたさびしさとともに、何かが変わった自分、少し成長した自分、自信めいたものを感じている自分に出会ったと感じている生徒さんもいるのではないのでしょうか。

○ 他の考えを尊重しながら、ともに一つのものを創り上げる素晴らしさ

文化祭の醍醐味はいろいろありますが、やはり、一人ではなく、学級や実行委員会、全校生と、所属は違ってても集団で一つのものを創り上げていくことにあります。学年発表にせよ、ダンスコンクールにせよ、全校合唱にせよ、一人の力ではどうにもなりません。よりよい発表や演奏にするために、観る人に少しでも笑顔や元気を届けるために、互いに知恵を出し合い、考えをぶつけ合ったことと思います。他と協力して一つのものを創り上げた経験は、今後の学校生活、そして中学校卒業後の生活の中で、何らかのかたちで皆さんの力になるはずですよ。

生徒達の全力パフォーマンスが観る人に元気や笑顔を届けた藍爽祭でした。準備やステージで躍動する生徒達の姿を見て、「生徒達には秘められた可能性がある」、「やればできる」という思いを強くしました。是非、今後の学校生活、家庭生活の中で、今回の経験を活かし、学習や部活動等に一生懸命、全力で取り組む姿勢を継続してほしいと思います。

ご家族の方々や地域の皆様には、休日にもかかわらず学校に足を運び生徒達の一つ一つの発表に大きな拍手を送っていただき、誠にありがとうございました。今後も、本校の教育活動にご協力・ご支援をいただければ幸いです。